

令和7年 第9回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和7年10月9日（木）
場 所 武豊町役場 全員協議会室
出席委員の氏名

教 育 長	榎原 寛二	委 員	鋤柄佐千子
教育長職務代理者	森田 教夫	委 員	浅野俊太郎
委 員	堤田 綾子		

出席職員の氏名

教 育 部 長	長澤 成江	学校 教育課 長	森田 光一
生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長	横田 覚	町民会館副主幹	上米良由佳
歴史民俗資料館長	奥野 真光	生涯学習スポーツ課課長補佐	神谷 芳美
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	池田 雅史
学校教育指導主事	小田島 健	学校教育指導主事	石田 貴之

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに令和7年第8回定例会 会議録の承認

（教育長）出席委員3名を確認し、会議の成立及び第9回定例会の開会を宣言します。

（教育部長） 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願ひします。

《意見なし》

（教育部長） 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願ひに行きますので、よろしくお願ひします。

（教育部長） それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

- 9月11日（木）
 - ・定例教育委員会
 - ・総合教育会議
 - 9月17日（水）
 - ・武豊小学校 学校訪問（浅野委員、堤田委員）
 - 9月18日（木）
 - ・定例校長教委管理職会議
 - ・民生児童委員等の情報交換会（衣浦小）
 - ・表敬訪問
- マウンテンバイククロスカントリー・オリンピック
第38回全日本自転車競技選手権大会 MTB-XCC・XC0-

	男子マスターズ 50 歳以上部門 優勝
9月19日 (金)	・町安全衛生委員会
9月24日 (水)	・民生児童委員等の情報交換会（緑丘小）
9月26日 (金)	・緑丘小学校 学校訪問（浅野委員、鋤柄委員）
9月29日 (月)	・生推協あいさつ運動
9月30日 (火)	・民生児童委員等の情報交換会（武豊小）
10月 1日 (水)	・表敬訪問 卓球 JOCジュニアオリンピックカップ 2025 全日本卓球選手権大会（カデットの部女子シングルス） 出場予定 富貴中2年女子
10月 2日 (木)	・5町教育長会
10月 3日 (金)	・町長学校環境視察
10月 5日 (日)	・文化協会芸能祭
10月 7日 (火)	・知教協、研修会（阿久比町）
10月 8日 (水)	・表敬訪問 「新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ」 ピアノ部門 オーディション合格 11／18 (火) 東京文化会館でピアノ・リサイタルを開催 ・表敬訪問 ボクシング 第5回全日本マスボクシング選手権大会 小学生高学年男子 140cm以下部 出場予定 緑丘小4年男子
10月 9日 (木)	・町学校運営研究会 ・町定例教育委員会

4. 議 事

(教育長) 議案第26号「令和7年度 武豊町教育支援委員会 委員（案）」について、事務局、お願いします。

議案第26号「令和7年度 武豊町教育支援委員会 委員（案）」について

(石田 指導主事) 資料1の説明

(教育長) それでは、採決に入ります。議案第26号「令和7年度 武豊町教育支援委員会 委員（案）」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議事を終了し、進行を教育部長にお願いします。

5. 報告事項

(教育部長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 令和8年度 武豊町定例教育委員会開催日程（案）

(指導主事) 資料2についての説明

定例教育委員会は、毎月第2木曜日を基本開催日とする。ただし、他の催し等により開催日は前後することがある。令和8年度分についても、今後の調整により変更する可能性がある。

(2) 令和7年度 教職員人事校長面談

(指導主事) 資料3について説明

11月定例教育委員会の前後に、教育委員との人事校長面談を各校10分程度で実施予定。

(3) 後援申請について

(学校教育課課長補佐) 資料4についての説明

9月末時点で11件の申請があり、全て許可している。内4件は事業が終了しており、残り7件は事業開催中、または、今後開催予定である。

(生涯学習スポーツ課課長補佐) 資料4についての説明

9月末時点で生涯学習関係では20件の申請があり、全て許可をしている。内1件は、事業が延期になったため再申請をしている。10件は事業が終了しており、残り9件は今後開催予定の事業である。スポーツ関係では6件の申請があり、全て許可をしている。内3件は事業が終了しており、残り3件は今後開催の予定の事業である。

(町民会館副主幹) 資料4についての説明

9月末時点で17件の申請があり、全て許可をしている。内8件は事業終了。

(4) 令和7年度 壱町田湿地一般公開の結果について

(歴史民俗資料館長) 資料5についての説明

昨年は最終日が雨天で中止となったため、4日間の公開で延べ369名の来場者であった。今年は5日間の公開で、延べ518名の方が来場したので、昨年よりも149人の増加となった。8月の公開日は、気温が40度以上になることもあり、また、9月の公開日は途中から雨が降り出したので、来場者数に影響が出た。町外からの来場者が多い傾向にある。

小中学生のボランティアには、毎年協力してもらっている。今年の公開日は、受付を担当してもらった。以前、小中学生の時にボランティアをしてくれた高校生が、自主的に手伝いに来てくれたという大変うれしい出来事もあった。

(5) 学校の近況について

(指導主事) 当日配付資料について説明

- ・各校の様子や行事予定について
- ・児童生徒の意見発表会について

(6) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料6について説明（10月～1月）

6. その他

(1) 町民会館より 配付資料

- ・各種事業について

(2) 生涯学習スポーツ課より 配付資料

- ・図書館フェスタ 2025について
- ・ここはどこ！？教えて昔の武豊展について

(3) 学校教育課より 資料7

- ・令和7年度 武豊町定例教育委員会開催日程の変更について

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願ひします。

(教育委員)

- ・以前ネットニュースで、さいたま市教育委員会が毎年9月30日を「明日（あす）も進む いのちの日」として制定して、AED の一斉点検や設置場所の確認をしているという記事を目にしました。これは、2011年に当時小学6年生だった桐田明日香さんが、駅伝のメンバーを決める選考会で1000メートル走ったのちに突然倒れて、翌日帰らぬ人となってしまったという悲しい事故が制定のきっかけとなったそうです。消防署などが行っている救命講習を受講した際にDVDを見たことがあるかもしれません、「ASUKA モデル」誕生の日が9月30日だそうです。当時、対応した先生方は、大きく息をするような動きがあったため、意識があると判断し、胸骨圧迫や心肺蘇生を行わなかったそうです。保健室にもAEDが設置されていましたが、使われなかったそうです。その後の事故の検証で、呼吸があると判断した背景に、先生たちに死戦期呼吸についての知識が不足していたことが挙げられたそうです。死戦期呼吸はゆっくりとあえぐような呼吸のことを言いますが、現在は、意識や呼吸があるかないかわからないときにはすぐに119番通報をし、胸骨圧迫を行い、AEDを使うことは、標準化されるようになります。2004年からは医療従事者でない一般の方もAEDを使えるようになりました。

現在、多くの小中学校にAEDが設置されており、心肺蘇生とAEDに関する講習も、広く実施されるようになりました。通常の授業や部活動など、日頃から様々な緊急事態が想定されますが、特にスポーツの秋と言われる10月は、運動会や体育祭が各学校で開催されて、事故が発生するリスクが高くなるといえます。事故が発生し、

AED が必要な際に、いつでも使用可能となる環境を整えていくことと併せて、誰もが心肺蘇生と AED を使用できるよう、習熟しておくことが求められると思います。そのために先生方の研修の充実はもとより、児童生徒に対する教育の機会を設定することも重要なと思っております。また、定期的な点検やバッテリーや電極パッドの消耗品の交換など、町や学校が責任をもって管理、運用する体制の構築が大切だと考えます。武豊町も定期的な点検をされているとは思いますが、迅速かつ適切に対応できる体制を整備していただきたいと思います。

(教育委員)

- 先日、研修会に参加し、農業生産法人代表取締役の方のお話を聞きました。私は今まで農業に関わることがなかったので、大変興味深い内容でした。地域密着型の農業経営をされている話でしたが、田植えのイベントなどで地域の子どもたちが農業に関わる機会を設けたり、農作物から加工品を製造し販売したりしているそうです。私の家は商売をしていたので、農家の方と関わることはありました。農家の方がイベントをするというのは聞いたことがなく、私が抱いていた農業のイメージを大きく変える内容ばかりでした。共通して言えるのは、どれも一人ではできない、チームとなって取り組まれているものばかりで、代表の方のリーダーシップがあつてこそ事業内容でした。新しいことに取り組む過程や地域とどのように関わっていくかなど、大変勉強になる内容でした。

(教育委員)

- 先ほどの委員の話と関連する内容になりますが、AED についての知識もあって、講習会等で実際に触ったことはあっても、いざその場面に遭遇し、はさみで服を切らなければいけない状況になったとき、AED を使うことへのハードルはかなり高くなるのではないかでしょうか。以前からお話をさせていただいているが、AED の使用期限が切れたパッドや着なくなった服を使うなど、講習会等においても、実際に先生方もはさみで服を切る、実物のパットを装着するなど、実際を想定した経験を訓練として実践しておく必要があるのではないかと思っています。
- 先日、緑丘小と武豊小の学校訪問に行ってまいりました。先生方が熱心に授業をされている姿が印象的でした。特別支援学級の子どもたちが、学級の友だちとの関わりの中で、できることが増えてきたという話も聞き、丁寧に支援をしているのだと感じました。学習面においては、子どもたちにとって分かりやすい授業となるように、先生方それぞれで工夫をされています。その工夫や指導方法の引き出しを、先生同士で共有することができると、教師としての力量向上にも繋がるのだと思います。
- 新聞報道で気になる記事がありました。東京都豊島区のある中学校では、毎週月曜日の始業を 1 時間遅らせているそうです。月曜日は 2 限から始まり、遅らせた分の 1 コマは、水曜日の午後にもっていくそうです。この取り組みによって、遅刻や欠席が多くなった子どもたちも、朝から登校できるようになったとのことです。校長先生が前例通りでは解決は難しいと考え、何かを変えていかなければとの思いで取り組んでいるそうです。山形県天童市のある小学校では、小学 4 年生から 6 年生ま

での総合的な学習の時間を月曜日の1、2時間目にしているそうです。この時間割にしてから、子どもたちの出席率が上昇し、4年間不登校児童がいないそうです。今年からは、今までの取り組みを基に、月曜日の1時間目と他の曜日の1時間目を総合的な学習の時間にして、子どもたちが登校しやすいようにしているそうです。そうすることで、子どもたちの学校に対するプレッシャーが軽減しているのではないかと思いました。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日
署名

作成者 小田島 健